



新型コロナウイルス感染症への対応について

問 PCR検査や抗体検査の相談先について伺います。

答 保健福祉部長 発熱症状等がある場合は、まずは、かかりつけ医に電話でご相談ください。かかりつけ医がない場合は、さんむ医療センター、県のコールセンター、または市の健康支援課に相談することとなっています。

問 生活や雇用の不安等、市民から寄せられた相談について伺います。

答 保健福祉部長 生活困窮者からの相談については、生活・就労相談室で受け、相談者の状況に沿った支援を行っています。令和2年度の相談件数は、1月末までで278件で、昨年度同時期の1・9倍となっています。

問 緊急事態宣言発令による時短営業に係る協力金の、支給期間について伺います。

て伺います。

答 経済環境部長 内容に不備がなければ、申請書受理後、2週間程度で振り込む予定だと聞いています。

問 市内中小・小規模事業者の現状や今後の見通しについて伺います。

答 市長 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、例年に比べ厳しい事業者があることは、商工会が調査した中小企業景況調査報告書等で認識しています。ワクチン接種が開始され、収束方向に向かうまで、市では、中小企業の経済活動を、国の第3次補正予算を活用し支援したいと思っています。



今後の財政施策について

問 令和3年度予算について、前年度より増額している理由について伺います。

答 財政課長 歳出の削減を図った一方で、松尾小学校の新校舎整備事業が11億6423万2千円、松尾駅周辺排水対策事業が7億4100万1千円など、支出額の大きい事業が予定されているためです。

問 本市の適正な予算規模について伺います。

答 財政課長 支出額の大きい事業が終了した後の、令和7年度以降の予算規模は、210億円程度と見込んでいます。

問 財政調整基金の長期計画について伺います。

答 財政課長 長期財政計画では、令和9年度末の残高見込みは、27億3675万6千円を予定していますが、令和3年度のような大きな取崩額が今後も続くと、計画以上のペースで減少が避けられないことを懸念しています。

市の歴史、文化財について

問 文化財や歴史的遺産の管理・調査について伺います。

答 教育部長 伊藤左千夫や松尾藩に係る資料は、歴史民俗資料館で、考古資料は、さんぶの森図書館協の低湿保管庫で保管しています。

市では、古文書類の市史資料等のデジタル化データを基に、来年度から資料館のホームページ等で順次公開を進めたいと考えています。

問 文化には、人々に元気を与え、地域社会全体を活性化させて、魅力ある社会づくりを推進する力があると言われています。

顕彰事業について、外郭団体と連携

を積極的に図る等、新たな取り組みが必要と思いますがどうですか。

答 市長 文化庁、県の動向を注視し、他の自治体の取り組み等を参考にしつつ、本市の代表的な偉人の偉業を顕彰する企画展や、各地の歴史、文化を紹介するイベント等、魅力あるまちづくりに積極的に取り組んでいきたいと思っています。

行政からの祝い金について

問 敬老祝品等支給事業について伺います。

答 保健福祉部長 毎年9月の敬老の日に、満88歳到達者に1万円、満99歳到達者に5万円を贈呈しています。令和2年度、満88歳が284名、満99歳が24名です。

問 令和3年度の敬老祝品等支給事業について伺います。

答 保健福祉部長 対象者を満100歳の方とし、3万円相当の祝い品経費を計上しています。

問 思いやりが伝わる施策を実施してほしいと思いますがどうですか。

答 市長 子育て世代や高齢者に対し、健康で安心して暮らし続けられる、思いやりのある施策に、引き続き取り組んでいきます。100歳のお祝いに、現金がいか品物がいいかは、ご意見を頂き検討します。